

チャペル週報

No.13

2012.7.2～7.6

激しやすい人はいさかいを引き起こし
忍耐深い人は争いを鎮める。

(箴言 15:18)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 7月2日(月) 神 藤 井 航 (神学部4年)
経 聖書の世界① 舟 木 讓 (宗教主事)
人 共に生きる① 小 西 砂千夫 (人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語「ダビデ」
-
- 7月3日(火) 神 ハンドベルクワイアによる音楽礼拝
文 森 田 雅 也 (文学部教授)
社 世界市民として生きる⑦ 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
法 「ボランティア活動の勧め」 関西学院上ヶ原ハビタット
経 経済と人間 (最終回) 根 岸 紳 (経済学部教授)
商 中 條 道 雄 (総合政策学部教授)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 福 万 広 信 (初等部宗教主事)
総 フラサークル mahalo
-
- 7月4日(水) 神 岩 嵩 大 悟 (神学部D2)
社 チャペル・ギター・コンサート クラシックギター部有志
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 音楽チャペル 聖歌隊
国 榎 本 てる子 (神学部准教授)
聖和 「エコロジー」 山 本 伸 也 (教育学部教授)
理 心に響くベルの音とともに 理工学部ハンドベル
総 小 谷 正 登 (教職教育研究センター教授)
-
- 7月5日(木) 神 平 林 孝 裕 (国際学部宗教主事)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 世界市民として生きる⑧ 森 久美子 (社会学部教授)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 大学生生活オリエンテーション
商 杉 浦 健 (ヒューマンサービスセンター・ボランティアコーディネーター)
国 English Chapel 宮 田 由紀夫 (国際学部教授)
聖和 「この命誰のもの」 松 隈 協 (関西学院高等部宗教主事)
総 オムリ・ブージッド (キリスト教と文化研究センター研究員)
-
- 7月6日(金) 院 井 田 博 康 (神学部M2)
神 高 橋 博 厚 (神学部D1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 聖書の世界② 舟 木 讓 (宗教主事)
人 共に生きる⑫ 市 瀬 晶 子 (人間福祉学部助教)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 「揺れる想い」 松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
7月6日(金) 高等部のために 芝 川 又 美 (高等部教諭)

過ぎ去る者として

李 政 元

私たちに与えられている時間は限られています。その限られた時間をどのように生きるのか。多くの場合、私たちは、充実した人生を求めて、それを実現してくれそうなニーズ（必要）を満たさんと必死です。「これは必要に違いない。そう、あれも必要だ。」といった具合に、ニーズの足し算を繰り返しながら、限られた時間を費やします。

さて、その存在の時間が限られている私たちは、時間の経過とともに、これまでに必死に獲得してきたものに対する満足度が逡減していくことに、あるとき突如として気付かされます。それは、老いを自覚したときかもしれませんし、想定などしていなかった命に関わるような病気や怪我に見舞われた時かもしれません。遅かれ早かれ、充実した人生を送るうえで、時間をかけて獲得したものが、もはや必要でなくなるというような経験をすることになります。それはまるで、どこまでも平坦な大地が広がっていると思いきや、それが突如、崖となって終わるかのようです。

私たちは、寒いからと重ね着をして着膨れするように、多くの物・もの・モノを手にしてきました。しかし、それら一切は時間の経過とともに、玉ねぎの皮を一枚そしてまた一枚と剥がされるかのようになり、私たちのもとから消えてなくなります。手からポロポロとこぼれ落ちていきます。そして、最後の一枚が剥がれ落ちた時、私たちには何が残っているのでしょうか。

イエスは、「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる」と言います。イエスが、「求めよ」というもの。「探せ」というもの。それが、私たちがこれまで手にしてきたもののうちにあることを願います。

ああ、そうでした、主は大変気前のよい主人でした。

(総合政策学部准教授)

●チャペル・オルガニスト（神戸三田キャンパス）募集

神戸三田キャンパスのチャペルを支える学生オルガニストを募集しています。オーディションに合格しますとオルガンの個人レッスンを受けることができ、理工学部か総合政策学部のチャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室、神戸三田キャンパス事務室（I号館キャンパス担当）で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。また、電子メールの添付ファイルでもFAXでも受け付けます。

☆募集要項、応募用紙がダウンロードできます。

ホームページ：関西学院大学→宗教センター→学生団体の紹介
教学Webサービス：お知らせ

募集期間：6月4日(月)～7月5日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター

電話：0798-54-6018、FAX：0798-51-0922

E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

7月6日（金） Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

13日（金） 樋口 進（宗教センター宗教主事）

20日（金） 田淵 結（宗教総主事）

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち41人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

とき：10月6日（土）10時～16時

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり、能島亜未

主催：吉岡記念館事務室宗教センター

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。（学生証等証明書必要）

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部のカウンターに募金箱を設置しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。